



施政方針

～「勇気」をもって、更に「本気」で「勤勉」に～ これからの10年、 更なる未来を見据えて

第66回市議会定例会が2月22日に招集され、平成28年度施政方針と予算案が提案されました。その概要をお知らせします。なお、施政方針の全文と予算の詳細は、市ホームページからご覧いただけます。(予算と主要事業の記事は6～9頁)

二億総活躍 元年の幕開け「安倍総理の本年1月4日の年頭記者会見での言葉です。そのスタートとなる本年は「未来へ果敢に挑戦する一年」とし、新「三本の矢」を放つと力強い決意を述べています。

兵庫県では「地域創生戦略スタート元年」を掲げた井戸知事の力強いリーダーシップのもと5年間の地域創生戦略を策定し「地域資源を生かした魅力あふれる淡路島」を目指した様々な力強い取組みとともに「津波防災インフラ整備計画」に基づく各種防災減災対策の推進など「安全・安心で元氣なふるさと兵庫創り」を推進いただいております。

本市では昨年、庁舎一本化に伴う分庁舎廃止や組織再編、市民交流センターの開設など行政の仕組みの大幅な転換を図りました。引き続き住民サービスの向上に取り組みまいります。

今まさに地域（地方）創生と言われております。本市においても直面する人口減少問題や地域の活性化など、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、国・県と強力で連携を図りながら取り組んでいく必要があります。

更なる未来への種をまき、苗木を植えていくことも必要です。「まかぬ種は生えぬ。」苗木を植えて育てなければ実はなりません。未来への布石となる新たな施策に、より積極的に挑戦してまいります。

まち・ひと・しごと 創生総合戦略基本目標

◆一つには、地域ぐるみで支え合い、笑顔がたえないまちづくりです。

各地域では、昨年発足した地域づくり協議会において、様々なまちづくりへの取組みを行っていただいております。この取組みは、必ず地域の魅力に繋がると信じており、市民交流センターにおいて支援してまいります。また、笑顔がたえないまちづくりのため、国・県との連携強化により、防災・減災対策を実施し、強固な社会・都市・地域基盤づくりへの取組みを継続してまいります。併せて、健全な財政基盤づくりにも引き続き取り組めます。

◆二つには、働く場を得て、ずっと住み続けたいまちづくりです。

進学や就職のため、若者の島外への流出が顕著です。人口の社会減を食い止めるための取組みが必要です。企業誘致の積極的な推進とともに転入者への土地を含めた住宅取得への支援など、働く場や住居の充実とそれらの情報を提供する仕組を整えることにより、住みたくなる、帰ってきたくなる「ふるさとづくり」を進めます。

◆三つには、魅力と味力があふれるまち（ふるさと）づくりです。

淡路島は国生み神話の島とも言われ、中でも本市は豊かな自然、文化、歴史や食などの豊富なふるさと資源を有しております。しかし、ブランドディングやプロモーションといった面はまだ

まだ不十分です。このことは、PRを充実させていくことによる「のびしろ」が、まだまだある。」と考えられます。

交流人口の増加のためには、本市ならではの、ふるさと資源を生かし、観光と結びつける取組みが必要であります。本市の魅力と味力の積極的な発信、PRを図ってまいります。また、高速バスのICカード化に向けて兵庫県、淡路島3市で取り組み、利用者の利便性向上と島外からの交流人口増を目指してまいります。

◆四つには、子育てしやすいまちづくりです。

子どもは地域の宝、市の宝です。合併以降、少子対策を重点施策の一つと位置づけ積極的に取り組んできました。昨年は、3歳から5歳児の保育料無料化の取組みを国に先駆けて実現することが出来ました。今後も「子ども・子育て支援事業計画」に基づいた取組みを進めるとともに、教育環境の更なる充実を図ります。また、津井地区での福祉の里づくりに取り組むほか、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを推進してまいります。

私自身、平成25年2月、皆様から3期目の負託をいただきました。ホップ・ステップに続いて、南あわじ市が大きくジャンプする年に、そして、これからの10年、更なる未来を見据えて、大きな布石の年となるよう政治生命の全てをかけて市長としての責務を全うしてまいります。覚悟でございます。

三原ライオンズクラブが時計を寄贈



▲中田市長から有賀佳美会長(左)へ感謝状を手渡しました ▲寄贈された電波時計

三原ライオンズクラブが、電波時計一式を三原健康広場に寄贈されました。同クラブは昭和59年3月、同広場に時計を寄贈されており、老朽化が進んだために、スポーツやイベント会場として多くの人が集うこの広場で役立ててほしいと、このたび新たに寄贈されました。2月に設置が完了し、3月15日に市役所で感謝状の贈呈式を開催。中田勝久市長から同クラブの有賀佳美会長に感謝状を手渡しました。

県広報コンクールで佳作受賞



▶写真部門(組み写真)で佳作を受賞した広報南あわじ9月号

第63回兵庫県広報コンクール写真部門(組み写真の部)において、昨年9月1日発行の広報南あわじが佳作を受賞しました。

審査員から「背景を黒色にすることで組んだ写真が映えている」と評価いただきました。今後市内のさまざまな話題や市役所からのお知らせなどをわかりやすくお伝えできるよう努力していきます。これからも取材への協力をよろしくお願い申し上げます。

「アフジアンドリーム2016 in南あわじ市」記者発表



▲市地域活性化事業推進協議会のメンバー

市商工会や商店街、市役所などをつくる「市地域活性化事業推進協議会」が市役所で2月25日、福良地区を活性化させるためのビジネスプランコンテスト「アフジアンドリーム2016 in南あわじ市」を開催すると発表しました。

このコンテストは、高齢化が進み、また空き家が目立つようになった福良地区を活性化させるために個人または団体から広くビジネスプランを募集するものです。「昼食を食べるところがもつと増えるにはどうしたらよいか」や「観光が地域により長時間滞在するにはどうしたらよいか」などの決まったテーマに対するプランを募集するほか、自由な切り口の活性化プランも幅広く募集しています。

◆同コンテスト概要
▽申込締切 4月30日(土)
▽応募方法 専用サイト (<http://awajidream.com/>) にある応募用紙に必要事項を記入の上、メールまたは郵送

ゆめるんフェスティバルを開催

文化体育館で2月21日、7回目となる「ゆめるんフェスティバル」が開催され、就学前の子どもと保護者ら約1600人が参加しました。

親子のふれあいを深めてもらうことを目的に子育て力向上推進協議会では、同フェスティバルを毎年開催。今年もNHKエテレ「フックブックロー」で活躍中の歌手 谷本賢一郎さんによるファミリーコンサートを、午前と午後の2回上演しました。



▲谷本さんと一緒にダンスする子どもたち